



2020年度 第6号

進路だより

青森県立弘前実業高等学校
進路指導部
令和2年 7月23日 発行

高校生の求人票が公開されました！

7月1日に高校生の求人票が公開されました。3年生の就職希望の皆さんが毎日進路資料室に来て、求人票を見たり先生方に相談したりしています。新型コロナウイルスの影響はありますが、県内の企業については7・8月の夏休み中を中心に企業見学が実施されます。また、県外の企業については、webで企業説明会を実施する場合があります。自分の志望理由を明確にするためにも、ぜひこのような見学会に参加するようにしましょう。また、相手の会社の方々は、コロナ禍のなかでも皆さんに見学のチャンスを持ってほしいという思いで見学会を実施してくださっているのだということを忘れないでください。実際に行くときにはマスクや咳エチケットの徹底など会社の方に安心していただけるよう、感染予防対策をきちんとするようにしましょう。



夏休み中は、小論文・作文の練習と基礎学力の向上を目指す！



緊急事態宣言の解除を受け、延期になっていたオープンキャンパスや学校説明会が開催される動きが、特に県内の上級学校を中心に出てきました。また、遅れていたそれぞれの学校の入学試験要項の公開・配布も始まりつつあります。新型コロナウイルスの影響で、入試の日程や要件の変更も見られます。また、大学入試改革のため、大学入試の名称が変更となっています。

名称	一般選抜	学校推薦型選抜	総合型選抜
昨年までの名称	一般入試	推薦入試	AO入試
内容	主に学力検査の結果で評価する。ただし、「調査書」「志望理由書」も提出する。	出願には、学校長の推薦が必要。高校の学業成績などを記した「調査書」を主な資料として評価する。	「志望理由書」などの書類による審査や面接、小論文課題などで志願者の適性や学習意欲を評価する。

「学校推薦型選抜」と「総合型選抜」の主な違いは、出願資格に学校長の推薦が必要かどうかになります。いずれも、書類審査や小論文試験、面接などを課し、志願者の学ぶ意欲や適性や人物像を評価する点は変わりません。また、学力を把握せず面接だけで合格させる大学があるという批判を受け、今回の改革により学校推薦型選抜の指定校推薦においても、書類だけや面接だけという入試から、小論文を課すなどして学力もきちんと評価する入試に変更になっている大学もあります。つまり、これまでの推薦入試よりも学力評価の割合が大きくなることが予想されます。進学を希望する人は、夏休み中に小論文・作文の練習をする、加えて講習などで基礎学力の向上を目指しましょう。



1,2年生の皆さんも、3年生になったときに備え、自分の進路についての理解を深める夏にしましょう！コロナの影響を乗り越える力は今の3年生だけに必要なものではないのです。勉強・部活への取り組み方も、もう一度考えてみましょう。